



2年目を迎えたデータヘルス計画は、「日本再興戦略」に掲げられた取り組みで、「国民の健康寿命の延伸」をめざしています。健康寿命とは健康面で日常生活が制限されずに暮らせる年数のことであり、平均寿命との差は「不健康な期間」を意味します。平均寿命が延びた分、生活習慣病の発症リスクも増えてきますが、そのリスクを抑えて健康寿命を延ばし、不健康な期間を短くすることが大切です。

特に健保組合に実施を義務づけた40歳以上の人への特定健診は、データヘルス計画を推進していくうえで重要な意味を持っています。データヘルス計画では、みなさんの医療費データと特定健診データを基に保健事業のPDCAサイクルを回していきます。

ご自身の健康のためにも、効果的・効率的な保健事業の推進につなげるためにも、健診は必ず受けて生活習慣を見直しましょう。

年に1度の健診は必ず受けよう

健診はデータヘルス計画の基本です

平成28年度も健診を受けましょう

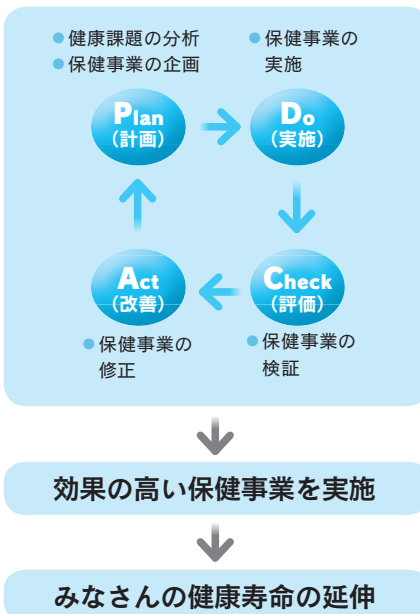
一人ひとりの健康に役立つ事業を推進

データヘルス計画では、医療費データと特定健診データの分析から健保組合の健康課題を明らかにし、効果的な保健事業を立案・実施していきます。

健保組合に集まるデータからは、例えば次のような健康課題がわかります。PDCAサイクルを繰り返すことにより、より効果の高い保健事業にしてみなさんの「健康寿命の延伸」をめざします。



左記のような健康課題を明らかにし、PDCAサイクルを回しながら保健事業の質を高めます。



データヘルス計画推進におけるみなさんへのお願い

みなさんの健診データと医療費データから健康課題を分析しています。被扶養者の方も含め、年に1度は必ず健診を受けられますようお願いいたします。

メンタルヘルス最新動向セミナー 第2弾

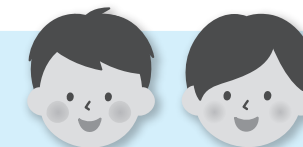
ストレスチェック対策セミナー

平成28年3月17日に、高岡総合健診センターにて、ストレスチェック対策セミナーを開催しました。

前半は、さくらまちハートケアクリニック院長 荒井秀樹先生を迎え、「診療室から見える産業現場事例」と題してご講演いただき、後半では、参加者の皆様と意見交換を実施しました。



参加者の皆様からは、「各企業の取り組みが参考になった」「参加者同士の意見交換が良かった」等のご感想をいただきました。



今春から、最新の胃部X線検診車が県内で稼働します



平成27年度の競輪の補助を受けて、最新の胃部X線デジタル検診車を整備しました。3月より生活習慣病検診や、胃がん検診で、皆様の事業所に出かけております。よろしくお願いいたします。



車両外観(某工場にて)



操作室内の様子